

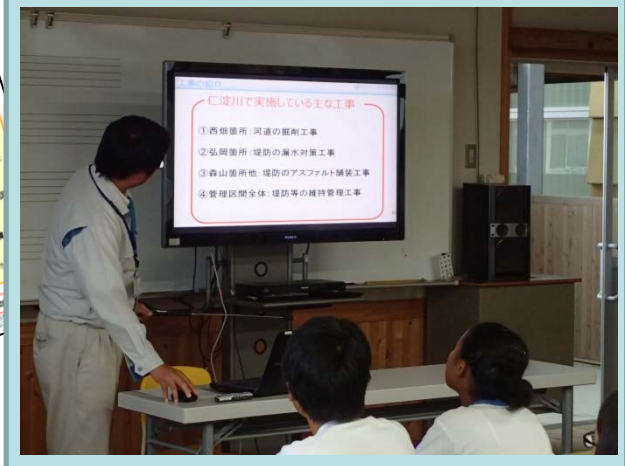
仁淀川 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組状況 ～流域市町村の小学生を対象とした取組状況の周知～

水防災意識社会再構築ビジョンの取組状況を実際に取り組んでいる河川の流域市町村の小学生約35名を対象に、防災学習を実施。

【実施機関】
高知県、四国地方整備局

1. 説明会日時：平成28年9月30日（金） 9:30～12:00
2. 会場：土佐市立蓮池小学校
3. 説明相手：小学5年生約35名及びその保護者
4. 説明内容
 - ・水防災意識社会再構築ビジョンの経緯及び取組状況
 - ・樋門、水門等河川構造物の役割について
5. 主な意見
 - ・台風が来たときはどの時点から樋門の操作をするのでしょうか 等

防災学習実施状況



波介川導流路の効果について
○台風12号・11号の影響により8月2日～8月10日までの9日間で1,187mmの降雨を記録したが、波介水位観測所地点で約1.0mの水位低減効果。
○浸水被害軽減効果は、面積約720ha、約27億円と推定される。

5. 国土交通省の取組状況
水防災意識社会再構築ビジョンとして、全ての流域河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目標に達成できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、住民が自らリスクを察知し主体的に避難に重点的に実施。
＜ソフト対策＞ 住民が自らリスクを察知するためのハード対策」に加え、危険が発生した場合にも被害を軽減する「洪水を安全に送するためのハード対策」を導入し、平成32年度を目標に「住民目線のソフト対策」へ転換し、
＜ハード対策＞ 各地域において、河川管理者・市町村等からなる協議会等を中心に設置して、
○洪水を安全に送するためのハード対策
○洪水が発生した場合でも河川での滞留を減少させ、堤防が削り取られる時間を延ばすよう堤防構造を工夫する
○堤防の安全確保
○堤防の安全確保
○堤防の安全確保
○堤防の安全確保

浸水面積 (ha)
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
2000
1000
500
0
浸水面積
東京ドーム約14個分

堤防天端をアスファルト舗装で保護
きた時、堤防が削り取られる時間

アスファルト舗装
堤防天端をアスファルト舗装で保護する

防災学習で使用した資料の抜粋